

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
制作概論											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	臺野 興憲			実務 経験	有	職種	撮影監督				
担当教員紹介											
<p>撮影監督。有限会社スタジオジュニオに制作進行にて入社。 株式会社ゴンゾでは撮影監督を努め、2001年より日本工学院入職。 アニメーションコースをまとめ、業界知識研修や実習授業を担当。</p>											
授業概要											
<p>この科目を受講する学生は、クリエイターやプロデューサーを目指すに当たり知っておかなければならない「法律」や「権利」について学ぶ。</p>											
到達目標											
<p>ビジネス著作権検定「Basic」「初級」の取得を目標とする。また、業界に入ってから権利ビジネスを意識出来ることを目標とする。</p>											
授業方法											
<p>この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。</p>											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価									
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価									
平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価									
履修上の注意											
<p>この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>必要に応じて授業にて資料配布を行う</p>											
回数	授業計画										
第1回	著作権の歴史										
第2回	著作権で保護されているもの										
第3回	インターネットと著作権										
第4回	著作物の2次創作について										
第5回	表現の自由について										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
制作概論	
第6回	作品発表する際の注意
第7回	自分の作品を守るために
第8回	ビジネス著作権検定対策1
第9回	ビジネス著作権検定対策2
第10回	ビジネス著作権検定対策3
第11回	ビジネス著作権検定対策4
第12回	ビジネス著作権検定対策5
第13回	ビジネス著作権検定対策6
第14回	ビジネス著作権検定対策7
第15回	ビジネス著作権検定対策8